

## 練馬隊友会会報（平成30年4月号）

### 1 会員の叙勲

広瀬 正範 瑞宝双光章 練馬区高松在  
栄えある受章おめでとうございます。

### 2 会員の動き

退会者 川名 操 大泉学園在住 療養の為

### 3 練馬隊友会お花見を実施

3月31日光が丘公園で実施した花見は好天に恵まれて、詩吟教室の人達（非会員）も含め村越会長以下28名が参加。桜吹雪の舞う中で謡曲、詩吟、三味線伴奏つきの民謡等も有って、賑やかな楽しい一刻を過ごしました。

差入れをして下さった有志の皆様有難うございました。



### 4 第1師団・練馬駐屯地創隊記念行事に参加

4月8日 練馬駐屯地で行われた行事に村越会長以下多数会員が参加した。昨年の寒雨とは

うって変わった好天下、様々な趣向を凝らした装備品の性能展示や訓練展示が有り、大いに盛り上がった。今年は都隊友会と共に練馬隊友会の総会も駐屯地で実施される事になっており、現役の皆さんと益々連携・絆を強めて行きましょう。

## 5 第41回隊友ふれあいウォーキング実施報告と次回の御案内 相談役 道面 康紀

- 1 気象状況に抛り1週間延期して、4月14日(土)10名(練馬会員等5名)の参加を得て、実施しました。今回は、当初の参加予定者は15名でしたが、延期したため5名の減となり第1回目に次ぐ最少参加人員でした。テーマの頼朝の渡河地点ですが、今も橋場の地名が残る、この地域に舟を並べ渡橋を造り、渡河したと考えられます。又、その後の歴史にも度々登場する石浜城は、有力説である隅田川西岸で唯一の丘がある待乳山聖天の地がふさわしいようです。ここを拠点にして、江戸太郎重長は頼朝の武蔵国への入国を阻みました。旧東海道墨田宿は、隅田川神社一帯で隅田川両岸に在ったと云われています。尚、今回は、深山明敏元東京都隊友会会長(83歳)、熊谷猛西東京支部長(84歳)が参加されました。お二人とも、すこぶる元気で、元気の秘密は何ですかと、お尋ねしたところ、毎日歩いているとの事でした。



桜橋



隅田川神社(水神社)

### 2 第42回隊友ふれあいウォーキングの御案内

- (1) テーマ 野川、丸子川沿いに史跡を訪ねる。
- (2) 日時 5月26日(土)9:00~14:00、雨天時 5月27日(日)予定
- (3) 経路 田園都市線「二子玉川駅」-兵庫島-砧線跡歩道「きしべの路」-野川-吉祥院-永安寺-六郷用水跡の碑-岡本公園-静嘉堂文庫-玉川大師-玉真院-行禅寺-田園都市線「二子玉川駅」

※ 今後の偵察により変更する場合があります。

- (4) 携行品 65歳以上は、身分証明書
- (5) 申し込み先 武蔵野の史跡を巡る会 世話人 道面 康紀

TEL・F a x 030-6766-3262

Eメール ys-domen@jcom.home.ne.jp

尚、詳細については、都隊友会ホームページに掲載しますのでご覧下さい。

## 6 健康ニュース 「ペットによる感染症」 塩井與志行

専門家によると、以前と比べてペットとの距離が近づいたことで、感染症にかかるリスクが高まっているとの事である。代表的なのが「パストツレラ症」や「コリネバクテリウム・ウルセランス菌」で、猫のほぼ100%、犬の70%が口の中に菌を持っている。感染すると傷を持っている人は痛んだり、腫れたり、化膿が進んだりする。風邪のような症状が出たりもする。重くなると骨膜炎や敗血症を起こし、最悪の場合は死に至ることも有る。高齢者で糖尿病のある人は重症化し易いそうである。

「パストツレラ症」の患者は年々増え続けており、病院への聞き取り調査では、1987年に僅か35人だったのが2011年には700人になっている。まだ全体としては小さな数字だが、増加率はかなり高い。犬猫には症状がでず、飼い主も症状が風に似ていることから感染に気が付かないケースが多く、医師も見抜けず、治療が遅れる事が多い。どんなに清潔にしても、動物の体液や排泄物には菌が存在しており、接し方に十分気を付ける必要がある。

### 1 ペットとの生活で注意する事

- (1) キスをしたり、口移しで餌を与えたりしない
- (2) 布団に入れて、一緒に寝たりしない
- (3) ペットに触った後はよく手を洗う
- (4) ペットの爪はこまめに切る
- (5) ペットの糞や尿は放置せず、速やかに処理する
- (6) ペットの体や寝床は清潔を保つ

(以上厚生労働省の「動物由来感染症ハンドブック」による)

## 7 季節の言葉 「葭始生(あし はじめて しょうず)」 佐伯忠史

4月の下旬から5月の初めまでの頃を指す二十四節気の「清明」「穀雨」は昨年紹介したが、今回の言葉は七十二候中十六候(四月二十日～二十四日)で、山野が緑一色に輝く時期の始まりを表す言葉。枯れ色とばかり思っていた水辺でも、よく見れば葭の若芽が芽吹いている。葭は「よし」と読むのだが、此の候では「あし」と読ませている。蘆、芦、葦も同じ物だが、「あし」は「悪し」に通ずるので「良し、善し、佳し、能し、芳し」に通ずる「よし」と読むようになったとの説あり。伊勢では「浜荻」とも言うらしい。(謡曲「蘆刈」中に『難波の蘆は、伊勢の浜荻』と言うくだりがある)。同類の植物に真菰や芒、薄、茅、萱、菅があるが、こちらには水辺でなくとも繁茂し、群落を作るものも多い。古来簾(すだれ)や屋根、笠、蓆(蓆)、苫、楽器、網・籠の類等に用いられ、洋の東西を問わず人々の生活に必須の植物であった。蓆(蓆)や苫、簾、箆等は植物の名ではなく製品名で蓆(蓆-むしろ)は編んだ敷物(昔これに座って物乞いをする人を「お菰さん」と云った)、苫や箆はやはり編んで覆いにする物を言う。(苫屋-とまや)、葭箆張(よしずばり)。日本橋浜町は江戸時代は文字通り大川端・江戸湾の河口で一面の葭の原だったが、船宿が多く、中央区日本橋界隈は、「葭町(後芳町)」という江戸六大花街(芳町、新橋、赤坂、神楽坂、浅草、向島)の1つで、現在最古の花街でもある。葭町の芸者出身で往年の有名歌手に小唄勝太郎がいる。今でも芸者がいるが、置屋は濱田屋一軒のみだが、室町コレドなんかでお座敷遊びの体験は出来る。季節の言葉「葭」がとんだお遊びガイドになってしまい、平にご容赦。

## 8 行事予定

5月 3日 (木)	憲法改正国民連絡会議	砂防会館
5月17日 (木)	臨時練馬隊友会副会長会同	北町地域集会所
5月19日 (土)	定期総会準備	練馬駐屯地
5月20日 (日)	練馬隊友会定期総会、師団長講話、意見交換会	練馬駐屯地

### 【会員の動き他原稿受付窓口】

佐伯 忠史

〒179-0073 練馬区田柄 3-23-12

Tel&Fax : 03-3999-1807

Email : [tadafumi.saeki@zj9.sonet.ne.jp](mailto:tadafumi.saeki@zj9.sonet.ne.jp)